

年	組	名前
---	---	----



佐伯市蒲江の西浦小学校(山田孝俊校長、30人)と同市の木立小学校(佐藤公武校長、63人)がアルミ缶回収優秀校としてアルミ缶リサイクル協会(東京)から表彰された。優秀校は全国67校で県内では2校だけ。

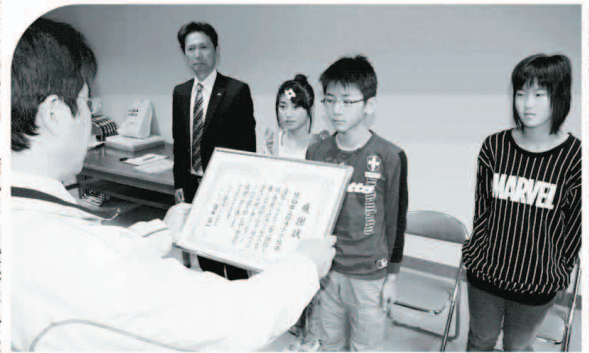
西浦小、木立小はそれぞれの学校で表彰式があり、アルミ缶の回収拠点施設の指定を受けている同市の社会就労センター「さつき園小島」の谷川浩明施設長らが訪問。アルミニウムはオーストラリアなどから輸入しているポキサイトという鉱物を精錬して作っているが、アルミ缶リサイクルでは鉱物から作るよりも電力を97%も節電できることを説明。「皆さんの活動はエコにもつながる。これが



表彰を受けた木立小の6年生ら。佐伯市の木立小学校

佐伯市の西浦小と木立小

アルミ缶回収優秀校に



感謝状を受け取る西浦小の児童。佐伯市蒲江の西浦小

「私も頑張つて」とあいさつ。両小とも児童だけでなく、児童会長に表彰状を手渡し、保護者や地域の人に協力してもらい、西浦小は昨年1年間で児童1人当たり長(12)は「地域と協力し、約10kg(アルミ缶約662個)を回収し、全国トップ集団力で大きな学校に負けず、個分」を回収し、全国トップにたたくさん集められた。さ、木立小は同6・3kg(同4kg)に頑張る」。木立小の福20個分)を回収した。リ泉蓮児童会長(12)は「僕がリサイクルした缶は有償で引取ると聞いてうれしく、冬にスタートに行くなど行事の活動に礼を述べた。これからも協力します」費に充てられているという。

(2014年12月2日朝刊17面)

佐伯市蒲江の西浦小学校と同市の木立小学校がアルミ缶回収優秀校として表彰されました。

①西浦小学校では、1年間で児童1人当たり何個分を回収しましたか。

.....

.....

.....

.....

②リサイクルで、鉱物からアルミニウムを作るより何%節電できますか。

.....

.....

.....

.....

③アルミ缶以外のリサイクルの取り組みと、活用を調べよう。

.....

.....

.....

.....